

五年 考えを明確にして話し合い、提案する文章を書く 「明日をつくるわたしたち」	単元	氏名	年組番	問
--	----	----	-----	---

提案書を書く

「提案書（提案する文章）」とは、ある現状や問題点を解決したり改善したりするために、具体的な解決の方法を示して、書いた文章のことです。

提案書を書くときには、自分の考えを理解してもらうために、まず現状や問題点を整理し、提案の理由を明確にします。提案の内容は、なるべく具体的なものにし、提案したことが実現するかどうか効果があるのかを示すようにします。

また、説得力のある提案書にするために、事実、意見、感想を区別して、提案の理由や、具体的な提案の内容、効果など、読み手を納得させる内容や書きぶりが必要です。

よりよい生活のための提案書

よりよい生活を送るために、「環境を大切にすることについて、具体的な案を提案する。」



「提案のきっかけ」には、現状や問題点を整理して、提案の理由を明確にして書くとよいね。

1. 提案するきっかけ

わたしたちの小学校では、ちいきのごみ拾いを月に1回行ったり、空き缶のリサイクルに取り組んだりしている。学校全体で取り組んでいるため。環境を大切にしようという意識が高い。しかし、給食の残菜はとても多い。残った給食はごみになっている、ということまで考えることができていないのが原因であろう。

環境を大切にするためには、わたしたちの身近な問題から解決していくことが大切なのではないか。そのためには、給食の残菜を減らすことが必要だと考えた。この考えにそって、次のことを提案する。

2. 提案

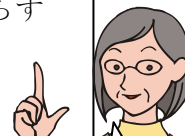
わたしたちの学校には、給食週間が3学期に1度ある。その回数を学期に1回に増やしてはどうだろうか。また、調理師さんがどのような工夫をして、おいしい給食をつくっているかのビデオを流したり、残った給食がどうなるのかについての紙芝居<sup>かみしばい</sup>をつくり、学級に読み聞かせに行ったりしてはどうだろうか。

今まで、給食週間は、給食を食べることができるという感謝への活動が多かったことに気がついた。そこで、「環境を大切に、残菜を減らす」という点でできることとして、このことを提案する。

3. 提案の効果

ビデオを流したり、学級に紙芝居を読み聞かせに行ったりすることによって、残菜の行方を知ることができると思う。

ビデオや紙芝居など、どの学年にもわかりやすい方法にすることで、学校全体で残菜を減らすことに取り組むことができると思う。



提案の内容を具体的に書くと読み手に伝わりやすいね。

提案の効果を書くと、より説得力が増しますね。「提案のきっかけ」「提案」「提案の効果」の3つの意味がつながるように書くことが大切ですね。

単元	年組番	問
五年 考えを明確にして話し合い、提案する文章を書こう 「明日をつくるわたしたち」	氏名	

1 教科書108ページの、中川さんたちの提案書を読んで答えましょう。

(1) 中川さんたちが「ちいきとのつながりを強くしよう」ということを提案するきっかけとなった問題点があります。どれはどんなことでしょうか。

(2) この提案書には、中川さんたちが考えた提案が二つ書かれています。その、二つの提案を書きましょう。

①	②
---	---

(3) 提案したことが実現すると、どんな効果があるのかを示す、「提案の効果」を2枚目に書きます。「提案の効果」として、ふさわしい記述は、次のうちどれでしょう。ア～ウの中から選びましょう。

ア この提案を実行すれば、突然地震や火災が来たとき、あわてずに行動し、命を守ることができるようになるだろう。

イ この提案を実行すれば、防災訓練を通して、絆を深めることができ、名前呼び合ったり、気軽に声をかけ合ったりすることができるようになるだろう。

ウ この提案を実行すれば、これから学校開放日や運動会などに来る地域の方が増え、より活気のある学校になるだろう。

答え

五年 考えを明確にして話し合い、提案する  
 文章を書こう 「明日をつくるわたしたち」

単 元

年

組

番

問

氏 名

1 次の取材メモを使って、「ア 提案」「イ 提案の効果」を書き、提案書を完成させましょう。

☆取材メモ ○提案のきっかけ

学校内でのけがが多い

ろう下を走り回る子どもが多い

○提案

「ろう下を歩く」せんげんシールを作り、配る

ろう下に、はち植えを置く

○提案の効果

せんげんシールを貼る→・ろう下を歩く意識が高くなる  
 ・宣言せんげんをしたことで、友達に声をかけやすくなる

はち植えを置く→・心がいやされる  
 ・けががへる

学校での過ごし方を考えよう

よりよい学校生活にするために、わたしたちができることとして、「ろう下通行の仕方」について具体的な案を提案する。

1. 提案のきっかけ

わたしたちの学校の子どもたちは、休み時間に、毎日外で遊んでいる。しかし、ろう下を走って運動場に行っている。遊びたい気持ち強いあまりに、走ってしまっているのだろう。また、そのためにろう下でけがをしてしまう子どもも多い。

けがをなくし、安全な学校生活を送るために、ろう下通行の仕方を決めることは大切なことだと考える。この考えにそって、次のことを提案する。

2. 提案

3. 提案の効果